

公益社団法人 環境科学会 2025 年会 タイムテーブル

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター会場
部屋		503(5F)	602/603(6F)	703(7F)	814(8F)	401/402(4F)
9 月 4 日 (木)		8:30 受付開始				ポスター発表 (閲覧のみ) ※11:00までに 掲示してください。
	9:00					
	9:15					
	9:30				口頭発表1D-1 化学分析・評価1 9:15～10:30 王 齊	
	9:45	シンポジウム-1	シンポジウム-2	シンポジウム-3		
	10:00	水インフラに見る人々の暮らしと 価値観	脱炭素実現に向けたCCS普及 策の学際的研究	「社会的質」の高いサステナビ リティを実現するために～安全保 障、包摂、結束、エンパワーメン トの観点から		
	10:15					
	10:30					
	10:45				口頭発表1D-2 化学分析・評価1 10:45～12:00 三宅祐一	
	11:00	村上道夫	有村俊秀	白井信雄		
	11:15	中村高志	鷲津明由	水谷香織		
	11:30	9:30～12:00	9:30～12:00	9:30～12:00		
	11:45					
	12:00					ポスター発表・討論 12:00～14:00 コアタイム 12:45～13:45 優秀発表賞審査・投票 13:30締切
	12:15					
	12:30					
	12:45	昼休み 12:00～13:45				
	13:00					
	13:15					
	13:30					
	13:45					
	14:00			口頭発表1C-3 ライフスタイル 13:45～15:00 中山敬太	口頭発表1D-3 化学分析・評価3 13:45～15:00 徳村雅弘	ポスター発表 (閲覧のみ)
	14:15	シンポジウム-4	シンポジウム-5 (受賞シンポ)			
	14:30					
	14:45	営農型太陽光発電による食糧 生産の持続可能性の確保	どうすれば環境ボランティアを増 やせるのか？			
	15:00					
	15:15			口頭発表1C-4 ライフスタイル 15:15～16:30 金森有子	口頭発表1D-4 化学分析・評価4 15:15～16:30 奥田哲士	
15:30	倉阪秀史	森保文				
15:45	馬上丈司	前田恭伸				
16:00	14:00～16:30	14:00～16:30				
16:15						
16:30	表彰式・若手育成事業表彰式 16:45～17:45 叡啓トップ(東) (15F)					
16:45						
17:00						
17:15						
17:30						
17:45						
18:00	交流会 18:00～20:00 叡啓トップ(南西) (15F)					

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター会場	
部屋		503(5F)	602/603(6F)	703(7F)	814(8F)	401/402(4F)	
9 月 5 日 (金)	8:30	8:30 受付開始					ポスター発表 (閲覧のみ) ※14:00までに 撤収してください。
	8:45						
	9:00	シンポジウム-6 再生プラスチックに関する循環 経済システムの構築に向けた課 題とその研究動向	シンポジウム-7 持続可能な食システムに向けて	口頭発表2C-1 地域システム 9:00～10:00 増井利彦	シンポジウム-8 スクリーニング分析を用いた環境 および水質モニタリングの新展 開	小林憲弘 坂田脩 9:00～11:30	
	9:15						
	9:30						
	9:45						
	10:00						
	10:15	小島直也 田畑智博 9:00～11:30	天沢逸里 栗栖聖 9:00～11:30	口頭発表2C-2 地域システム(4件) 10:30～11:30 松村寛一郎			
	10:30						
	10:45						
	11:00						
	11:15	昼休み 11:30～12:30					
	11:30						
	11:45						
	12:00						
	12:15						
	12:30	口頭発表2A-3 市民活動・環境教育(6件) 12:30～14:00 岸上祐子	口頭発表2B-3 気候変動(7件) 12:30～14:15 今井健一	口頭発表2C-3 環境政策(7件) 12:30～14:15 牧誠也	口頭発表2D-3 資源・廃棄物(6件) 12:30～14:00 沼田大輔		
	12:45						
	13:00						
	13:15						
	13:30						
	13:45						
	14:00						
	14:15						
	14:30	後片付け					
	14:45						
	15:00						

※ シンポジウムの枠内の氏名はオーガナイザー、口頭発表セッションの枠内の氏名は座長です。

口頭発表(一般発表)

[1日目(9月4日)午前]

口頭発表 1D-1「化学分析・評価 1」D会場(814) 9:15-10:30

座長: 王 齊

- 1D-0915 プラスチックの分解と分解物の同定
○宮副 瑛輝, 諸熊 恵美, 石橋 康弘, 中道 隆広 (熊本県立大学, 長崎総合科学大学)
- 1D-0930 広島県酒都西条における地質的な特徴と地下水の水質変化
○竹野 健次, 沖村 雄二, 前垣 壽男 (安田女子大学・理工, 仙石庭園, 西条・山と水の環境機構)
- 1D-0945 食品接触材中の有機フッ素化合物の濃度調査
○植松 龍也, 三国 向日葵, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史, 三宅祐一 (静岡県立大学大気環境研究室, 横浜国立大学)
- 1D-1000 加熱式タバコの葉および主流煙に含まれる金属類の定量評価
○青木 遥輝, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史 (静岡県立大学大気環境研究室)
- 1D-1015 ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレートの光劣化を促進する多環芳香族炭化水素類の同定
○渡辺 拓海, 滝川 哲也, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史 (静岡県立大学)

口頭発表 1D-2「化学分析・評価 1」D会場(814) 10:45-12:00

座長: 三宅 祐一

- 1D-1045 機械学習を用いた光化学オキシダント高濃度時予測における特徴量の検討
○亀屋 隆志, 坂東 瑠輝 (横国大院・環)
- 1D-1100 【論文賞受賞記念講演】土砂災害警戒区域内に立地する PRTR 対象事業所における Natech リスクの抽出
○森口 暢人, 伊藤 理彩, 東海 明宏 (東京海上 DR, 北九州市大, 新居浜高専)
- 1D-1115 カビ毒アフラトキシン産生菌の空間分布に関するデータセット構築と気候変動による影響の評価
○西森 基貴, 塚田 祐子, 若月 ひとみ, 長谷川 利弘, 細谷 幸恵, 久城 真代 (農研機構農業環境研究部門, 元・農研機構食品研究部門, 農研機構食品研究部門)

- 1D-1130 災害・事故による化学物質の異常放出の法的管理 ―環境法律における「事故時の措置」の検討
○赤渕 芳宏（明治学院大・法）
- 1D-1145 二酸化炭素回収プロセスにおける固体炭素の曝露評価
○高井 さつき, 長屋 太樹, 福田 絵美, 松井 康人（京都大・環境安全保健機構）

[1 日目(9 月 4 日)午後]

口頭発表 1C-3「ライフスタイル 1」 C 会場(703) 13:45–15:00

座長: 中山 敬太

- 1C-1345 生協店舗における食品ロス発生の部門別要因分析
○増原 直樹, 松林 勇希（兵庫県立大・環境人間）
- 1C-1400 インドネシア都市スラムの子どもの手洗いと栄養・衛生状態
○山内 太郎, 大塚 裕美子, 牛島 健（北大・保健, 北海道立総合研究機構）
- 1C-1415 環境に配慮した衣料品の支払い意志額に関する研究 ―選択型コンジョイント分析を用いて―
○勝又 淳司（法政大学大学院）
- 1C-1430 エネルギー消費と節約の認識とヒューリスティックス
○森田 稔, 佐藤 光南（高崎経済大学, 日本エネルギー経済研究所）
- 1C-1445 社会的投資収益率を用いたフードバンク事業の統合的評価
○藤山 淳史, 酒井 慶大, 松本 亨（北九州市大）

口頭発表 1C-4「ライフスタイル 2」 C 会場(703) 15:15–16:30

座長: 金森 有子

- 1C-1515 市民の緑地利用と個人・地域幸福感の関係性：茨城県守谷市を事例に
○甲斐田 直子, 落合 一翔, 糸井 風音（筑波大学）
- 1C-1530 新婚世帯の家電取得行動から検討した気候変動緩和策の推進に関する研究
○金森 有子, 増井 利彦, 金光 琳平, 棟居 洋介（国立環境研究所, 東京科学大学・工）

- 1C-1545 Does Artificial Intelligence Energy Management System Reduce Electricity Consumption in Japan's Retail Sector
○Guanyu Lu, Hajime Katayama, Toshi H. Arimura, Shohei Morimura, Tomoichi Ishiwatari, and Tetsu Iwasaki (早稲田大学)
- 1C-1600 家庭部門における経済性からみた電化の見通し
○河瀬 玲奈, 日比野 剛, 金森 有子, 石河 正寛, 大田 宇春, 平山 智樹 (琵琶環セ, 国環研, 住環研, MHRT)
- 1C-1615 小規模な気候市民会議の評価研究
○竹内 彩乃, 前田 洋枝, 松浦 正浩 (東邦大学, 南山大学, 明治大学)

口頭発表 1D-3「化学分析・評価 3」D 会場(814) 13:45-15:00

座長: 徳村 雅弘

- 1D-1345 シリコーンパッシブ法における評価可能物質の推定とリスクアセスメントへの適用
○田川 瑛梨, 宮本 睦子, 王 齊, 雨谷 敬史, 三宅 祐一 (横浜国大, 労働安全衛生総合研究所, 静岡県大)
- 1D-1400 モノリス型固相抽出遠心カラムを用いた PFAS の迅速前処理法の検討
○諸熊 恵美, Elwaleed Ahmed, Nguyen THI QUYNH, 小林 淳, 石橋 康弘 (熊大院・環共, 熊大・環共)
- 1D-1415 光化学オキシダント注意報レベル予測の機械学習における高濃度時データ収集範囲の検討
○坂東 瑠輝, 亀屋 隆志 (横大院・環)
- 1D-1430 小型低流速土壌ガス吸引装置による有機塩素系溶剤汚染土壌の浄化予測モデルの検討
○鄭 桐偉, 柏 冬琳, 李 京, 小林 剛 (横浜国立大学大学院)
- 1D-1445 高濃度溶液の短時間流入時、及び、懸濁物質・油分共存時の金属類用パッシブサンプラーの性能評価
○森 育子, 矢吹 芳教 (大阪環農水研)

口頭発表 1D-4「化学分析・評価 4」D 会場(814) 15:15-16:30

座長: 奥田 哲士

- 1D-1515 グリホサートによる環境汚染をめぐる構造的問題に対する法的予防措置の可能性 ―ナッジやスラッジも踏まえて―
○中山 敬太 (早稲田大学)

- 1D-1530 PFAS の非点源汚染をめぐる国と自治体の環境行政について ―リスク行政と不確実性行政の「ねじれ」と「ゆらぎ」の観点から―
○中山 敬太（早稲田大学）
- 1D-1545 工場排水流入シミュレーションと製造現場へのフィードバック
○西村 総介, 後藤 尚弘（栗田工業株式会社, 東洋大・情報連携学部）
- 1D-1600 労働安全衛生法に基づくリスクアセスメントの精緻化に向けた VOC パッシング法の適用
○溝渕 円香, 王 齊, 雨谷 敬史, 福島 靖弘, 鈴木 義浩, 深澤 英, 三宅 祐一（横浜国大, 労働安全衛生総合研究所, 静岡県大, 柴田科学）
- 1D-1615 牛の消化液培養におけるカギケノリ添加のメタン削減効果
○井藤 千聖, 村山 遥人, 泉 賢一, 吉田 磨（酪農学園大・院酪農, 酪農学園大・農食環境, 日大・生物資源）

[2 日目(9 月 5 日)午前]

口頭発表 2C-1「地域システム 1」C 会場(703) 9:00-10:00

座長: 増井 利彦

- 2C-0900 【奨励賞受賞記念講演】空間情報を用いた資源の需給ポテンシャル解析に関する研究
○牧 誠也（国立環境研究所 社会システム領域）
- 2C-0915 地域特性を踏まえた地熱発電導入における合意形成支援モデルの開発
○伊藤 瑞季, 磐田 朋子, 吉岡 剛（芝浦工大院・システム理工）
- 2C-0930 Study on the Utilization and Tourism of the Ramsar Convention on Wetlands in Japan
○タン ソウニ（広島大学）
- 2C-0945 国土強靱化に資する省力水稻栽培方法の開発と実践
○松村 寛一郎, 杉本 賢二, Srishti Arora（金城大学, 大阪公立大学, Ignisnova-Robotics (India)）

口頭発表 2C-2「地域システム 2」C 会場(703) 10:30-11:30

座長: 松村 寛一郎

- 2C-1030 東京都市圏 ACT を用いた働き方と鉄道サービスレベルによる交通行動の変化と環境面への影響
○有賀 敏典, 金森 有子, 池田 晃一, 森田 舞（千葉大学, 国立環境研究所, 株式会社オカムラ）

- 2C-1045 中国における 2060 年エネルギー消費量の予測モデルー四大地域の視点からの分析ー
○劉 華偉（千葉大学）
- 2C-1100 送電容量制約下における再生可能エネルギー由来電力利用最大化に向けた市町村連携の可能性
○垣内 真安太, 叢 日超, 藤山 淳史, 松本 亨（北九州市大院, 静岡文化芸術大学, 北九州市大）
- 2C-1115 動的物質フロー分析に基づく日本の電気貨物自動車の普及と電力需要の推計
○勝島 大, 中谷 隼, 林 徹, 山下 奈穂, 藤田 壮（東大院・工）

[2 日目(9 月 5 日)午後]

口頭発表 2A-3 「市民活動・環境教育」A 会場(503) 12:30-14:00

座長: 岸上 祐子

- 2A-1230 資源回収ステーションを対象とした住民選好意識構造の比較分析
○鎌田 理玖, 藤山 淳史, 松本 亨（北九州市大院, 北九州市大）
- 2A-1245 地域のプレーヤーが起こす行動変容プロセスについての検討
○岸上 祐子, 馬奈木 俊介, 北村 友人（九州大学, 東京大学）
- 2A-1300 気候市民会議の参加者の年齢構成に関する考察
○松橋 啓介, 尾上 成一, 竹内 彩乃（国環研, 東邦大・理）
- 2A-1315 戸建て住宅の脱炭素政策に関するシナリオ選択型市民討議会におけるシナリオ選好の地域差の評価
○大塚 佳臣, 平松 あい, 後藤 尚弘, 花岡 千草, 荒巻 俊也（東洋大・総合情報, 東洋大・情報連携, 兵庫県大院・工, 東洋大・国際）
- 2A-1330 Personal experiences and ESG investment: Evidence from retail investors in Japan
賈 曉, 山本 裕基, ○松本 健一（東洋大, 関西大）
- 2A-1345 アクティブ・ラーニングを取り入れるリベラルアーツ科目での英語開講（EMI）環境学教育
○下ヶ橋 雅樹, KASPAREK Nick, 水島 希, 田口 陽子（叡啓大・SSD, 広大院・人）

口頭発表 2B-3「気候変動」B 会場(602/603) 12:30–14:15

座長: 今井 健一

- 2B-1230 日本における気候変動の緩和策の社会的受容
○森田 香菜子, 松本 健一 (慶應義塾大学, 東洋大学)
- 2B-1245 学校部活動における熱中症リスクとその対策による影響
○仲澤 諒人, 棟居 洋介, 金森 有子, 増井 利彦 (東京科学大 工学院,
(独) 国立環境研究所)
- 2B-1300 気候変動がアジアの食料安全保障にもたらす影響: コメを対象としたケーススタディ
○今井 健一 (大阪経法大・国際)
- 2B-1315 地域気候変動適応計画の改定に伴う計画内容の質的变化とその要因の分析
○今井 葉子, 藤田 知弘, 真砂 佳史, 肱岡 靖明 (国環研・適応センター)
- 2B-1330 熱中症リスクに対する暑熱対策ツールの利用実態とその影響因子
○絹川 グリボスタン, 栗栖 聖 (東京大学大学院)
- 2B-1345 地域の観光における気候変動に対する脆弱性の評価
○塩谷 稀一郎, 栗栖 聖, 福士 謙介 (東京大学・工・都市工)
- 2B-1400 気候変動による洪水リスク軽減のための居住誘導における将来の土地利用およびCO₂削減の評価
○堀岡 茜李, 栗栖 聖, 福士 謙介 (東京大・工)

口頭発表 2C-3「環境政策」C 会場(703) 12:30–14:15

座長: 牧 誠也

- 2C-1230 言語の違いを考慮した研究タイトルを対象としたテキストマイニングによる環境研究の時代的変遷 —国立環境研究所における研究論文・発表タイトルを事例として
○牧 誠也 (国立環境研究所 社会システム領域)
- 2C-1245 中国における営農型太陽光発電の現状と課題 —中国浙江省の事例研究から
○徐 雨晨 (早稲田大・社会学)
- 2C-1300 社会における立場や背景理解の差異に起因する水俣病問題への態度の違い
○平松 あい, 高野 誠二 (東洋大・情報連携, 東海大・文理融合)

- 2C-1315 日本における 2050 年脱炭素社会を実現する温室効果ガス排出経路の定量化
○増井 利彦, 日比野 剛, 芦名 秀一, 金森 有子, シルバ・ヘラン ディエゴ, 畑 奨, 河原崎 里子 (国環研)
- 2C-1330 人口減少期のわが国における耕作放棄地活用のための農地政策とそれらが依拠する環境思想の考察
○澁谷 知之 (日本国際学園大・経)
- 2C-1345 社会関係資本による気候変動緩和行動の促進可能性: 私的・公共領域に着目して
○糸井 風音, 甲斐田 直子 (筑波大学)
- 2C-1400 第六次環境基本計画策定をめぐる意見の貢献度分析: 重み付けおよび可視化による定量的アプローチ
○石井 康平, 亀田 堯宙 (千葉大学大学院, 人間文化研究機構)

口頭発表 2D-3「資源・廃棄物」D 会場(814) 12:30-14:00

座長: 沼田 大輔

- 2D-1230 小規模自治体におけるごみ排出原単位増加の背景 ～福島県湯川村を例に～
○沼田 大輔, 稲月 萌, 丹野 栞里, 小野寺 翔汰, 國分 逸生, 牧野 未侑 (福島大学)
- 2D-1245 資源と環境の統合に基づく木質バイオマス供給量の将来推計に係るシミュレーション手法の開発
○周 俊男, 田畑 智博 (神戸大学)
- 2D-1300 Production of Eco-feed for Poultry Using Solid Food Waste via Unsterile Aurantiochytrium sp. L3W Cultivation
○パムンガス ブリアン, 佐々木 元, 中井 智司, 末永 俊和, 後藤 健彦, 西嶋 渉 (広島大学)
- 2D-1315 モンゴル国ゴビ地域の牧民による灌木"ザグ"の再生行動に関する分析
○中村 洋, ナラントゥヤ バツク, ソドノムダルジャー デルゲルジャルガル (山口東京理科大学・共通教育センター, 早稲田大学大学院・アジア太平洋研究科, Vetemnet LCC)
- 2D-1330 Assessment and mitigation of environmental impacts in pig husbandry by maximized waste recycling
○李 友仁, 林 彬勸, 一杉 佑貴, 井上 和也, 利谷 翔平, 寺田 昭彦 (産業技術総合研究所, 東京農工大学)

2D-1345 熊本県球磨川流域における木質バイオマス資源量とエネルギー利用可能性調査

○柴田 葵, 諸熊 恵美, 石橋 康弘, 中道 隆広 (熊本県立大学 環境共生学研究科, 長崎総科大学 総合情報学部 生命環境工学コース)

ポスター発表(優秀発表賞応募発表を含む)

発表・質疑応答: 9月4日(木)12:00-13:45 (コアタイムは 12:45-13:45)

- P-1 中国における 2060 年エネルギー消費量の予測モデルー四大地域の視点からの分析ー
○劉 華偉 (千葉大学)
- P-2 社会関係資本による気候変動緩和行動の促進可能性: 私的・公共領域に着目して
○糸井 風音, 甲斐田 直子 (筑波大学)
- P-3 シリコーンパッシブ法における評価可能物質の推定とリスクアセスメントへの適用
○田川 瑛梨, 宮本 睦子, 王 齊, 雨谷 敬史, 三宅 祐一 (横浜国大, 労働安全衛生総合研究所, 静岡県大)
- P-4 熱中症リスクに対する暑熱対策ツールの利用実態とその影響因子
○絹川 グリボスタン, 栗栖 聖 (東京大学大学院)
- P-5 モノリス型固相抽出遠心カラムを用いた PFAS の迅速前処理法の検討
○諸熊 恵美, Elwaleed Ahmed, Nguyen THI QUYNH, 小林 淳, 石橋 康弘 (熊県大院・環共, 熊県大・環共)
- P-6 第六次環境基本計画策定をめぐる意見の貢献度分析: 重み付けおよび可視化による定量的アプローチ
○石井 康平, 亀田 堯宙 (千葉大学大学院, 人間文化研究機構)
- P-7 地域の観光における気候変動に対する脆弱性の評価
○塩谷 稀一郎, 栗栖 聖, 福士 謙介 (東京大学・工・都市工)
- P-8 光化学オキシダント注意報レベル予測の機械学習における高濃度時データ収集範囲の検討
○坂東 瑠輝, 亀屋 隆志 (横国大院・環)
- P-9 気候変動による洪水リスク軽減のための居住誘導における将来の土地利用および CO2 削減の評価
○堀岡 茜李, 栗栖 聖, 福士 謙介 (東京大・工)
- P-10 熊本県球磨川流域における木質バイオマス資源量とエネルギー利用可能性調査
○柴田 葵, 諸熊 恵美, 石橋 康弘, 中道 隆広 (熊本県立大学 環境共生学研究科, 長崎総科大学 総合情報学部 生命環境工学コース)
- P-11 資源回収ステーションを対象とした住民選好意識構造の比較分析
○鎌田 理玖, 藤山 淳史, 松本 亨 (北九州市大院, 北九州市大)

- P-12 送電容量制約下における再生可能エネルギー由来電力利用最大化に向けた市町村連携の可能性
○垣内 真安太, 叢 日超, 藤山 淳史, 松本 亨 (北九州市大院, 静岡文化芸術大学, 北九州市大)
- P-13 小型低流速土壌ガス吸引装置による有機塩素系溶剤汚染土壌の浄化予測モデルの検討
○鄭 桐偉, 柏 冬琳, 李 京, 小林 剛 (横浜国立大学大学院)
- P-14 プラスチックの分解と分解物の同定
○宮副 瑛輝, 諸熊 恵美, 石橋 康弘, 中道隆広 (熊本県立大学, 長崎総合科学大学)
- P-15 労働安全衛生法に基づくリスクアセスメントの精緻化に向けた VOC パッシブ法の適用
○溝渕 円香, 王 斉, 雨谷 敬史, 福島 靖弘, 鈴木 義浩, 深澤 英, 三宅 祐一 (横浜国大, 労働安全衛生総合研究所, 静岡県大, 柴田科学)
- P-16 動的植物質フロー分析に基づく日本の電気貨物自動車の普及と電力需要の推計
○勝島 大, 中谷 隼, 林 徹, 山下 奈穂, 藤田 壮 (東大院・工)
- P-17 牛の消化液培養におけるカギケノリ添加のメタン削減効果
○井藤 千聖, 村山 遥人, 泉 賢一, 吉田 磨 (酪農学園大・院酪農, 酪農学園大・農食環境, 日大・生物資源)
- P-18 食品接触材中の有機フッ素化合物の濃度調査
○植松 龍也, 三国 向日葵, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史, 三宅 祐一 (静岡県立大学大気環境研究室, 横浜国立大学)
- P-19 加熱式タバコの葉および主流煙に含まれる金属類の定量評価
○青木 遥輝, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史 (静岡県立大学大気環境研究室)
- P-20 ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート of 光劣化を促進する多環芳香族炭化水素類の同定
○渡辺 拓海, 滝川 哲也, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史 (静岡県立大学)
- P-21 大気環境分野における全国規模の共同研究が地方環境研究所に与える影響の検討
○豊永 悟史 (熊本県保健環境科学研究所)
- P-22 スリランカのコロombo都市圏における都市洪水対策事業の気候変動適応効果に関する評価研究
○佐藤 一郎, アンディ・ベッセ リンバ, 成田 大樹, 小川田 大吉, 松村 明子, 余田 奈穂 (JICA 緒方貞子平和開発研究所, 東京大学大学院総合文化研究科, 日本工営株式会社)

- P-23 ハンドウイルカの肝臓及び骨格筋における水銀及びセレンの局在
○丸本 倍美, 坂本 峰至, 丸本 幸治 (国立水俣病総合研究センター)
- P-24 洪水を想定した太陽光発電の災害廃棄物発生量の推計 ―北海道を対象として―
○杉本 賢二, 上田 一嘉, 林 希一郎 (大阪公立大学, 名古屋大学)
- P-25 家計のエネルギー価格に対する脆弱性の実態把握と緩和対策の提案に関する研究
○田畑 智博, 蔡 佩宜 (神戸大・発達, 九工大・教養)
- P-26 東京都水道水質検査外部精度管理への取り組み
○木下 輝昭 (東京都健康安全研究センター)
- P-27 球磨川流域における関係価値と政策信念 ―ダム政策支持に与える影響の分析―
○竈橋 一輝, 大野 智彦 (南山大学・国際教養, 名大・環境学研究科)
- P-28 ロジスティック回帰分析による日常生活における温暖化対策行動の要因分析
○尾崎 平, 檀 寛成, 北詰 恵一 (関西大学, 早稲田大学)
- P-29 タイヤ凍結粉碎試料から溶出する添加剤由来化合物の同定と高速道路型集水樹に貯留する雨水中の残留実態
○国末 達也, 田上 瑠美, 鈴木 剛, 仲山 慶 (愛媛大・先研院・沿環科研セ, 国環研・資源循環)
- P-30 製品中のデクロランプラス (DP) 分析法の検討
○古川 浩司, 後藤 恵, 前川 実優, 岡田 愛唯, 橋本 真 (三重県環境保全事業団)
- P-31 高校教育における環境化学の位置づけと大学への接続
○四ノ宮 美保 (大妻女子大・社情)
- P-32 水道水中のかび臭物質 (ジェオスミン・2-MIB) の固相抽出-LC/MS/MS 分析法の検討
○小林 憲弘, 土屋 裕子, 内山 奈穂子 (国立医薬品食品衛生研究所)
- P-33 不飽和土壌中の揮発性有機化合物の自然浄化による浄化可能性の検討
○小林 剛, 島 生成, 鄭 桐偉, 李 京 (横浜国立大学)
- P-34 貿易による産業別生産性変化が GHG 排出量に及ぼす影響
○赤堀 弘和 (北大・農)
- P-35 河川中の PFAS の濃度および残留性調査
○石川 奈緒, 山木 柚希, 伊藤 来夢, 横田 拓海, 笹本 誠, 鳴海 貴之, 竹花 和浩, 伊藤 歩 (岩手大学)

- P-36 大学生の不用衣類の排出・リユース行動に影響する要因の検討
○前田 洋枝（南山大・総政）
- P-37 子ども服の循環利用の取り組み：クリーニング業界と市民団体の事例から
○吉田 綾, 細井 山豊, 兼澤 真吾, 萩原 理史, 加山 俊也（国立環境研究所, 東大・新領域, 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）
- P-38 脱炭素化経営に関する企業意識調査 ―地中熱・再エネ熱普及方法論研究の一環として―
○富樫 聡, 島田 佑太朗（産総研）
- P-39 水俣湾周辺地区住民健康調査を用いた水俣病(疑い)の同定に関する研究
○西村 康希, 栗原 大和, 中井 里史（横浜国大・理工, 横浜国大・環境情報）
- P-40 日本の各地域における大気汚染物質の長期的な削減に関する評価：汚染物質の地域間移動の動態を考慮した政策シミュレーション分析
○成田 大樹, 小松 英司, 森川 多津子, 早崎 将光, 山田 大地（東京大学大学院総合文化研究科, 環境創生科学研究所, 日本自動車研究所, 広島大学）
- P-41 都市域における統合的エリアエネルギーマネジメントモデルの開発
○平野 勇二郎, 吉田 崇紘, 村上 大輔, 瀬谷 創, 山形 与志樹（国立環境研究所, 東京大学, 統計数理研究所, 神戸大学, 慶應大学）
- P-42 集水域に着目した土砂災害の動的リスク予測による警戒情報の精緻化
○田中 優也, 後藤 真太郎（立正大・地球環境）
- P-43 大阪湾のスナメリに対する海洋プラスチックと餌生物を介した PAHs 曝露量の推定：POPs との比較解析
○須之内 朋哉, 国末 達也（愛媛大・先研院・沿環科研セ）
- P-44 養殖スマを対象とした水銀・PCBs 蓄積に関与する要因分析
○須之内 朋哉, 斎藤 大樹, 後藤 理恵, 国末 達也（愛媛大・先研院・沿環科研セ, 愛媛大・南水研セ）
- P-45 UV-LED による微生物不活化性能評価
○張 揚, 猶原 順, 寺田 貢優, 川北 偉央, 李 唐（岡山理大・理工）
- P-46 循環型農業の実現に向けた光触媒窒素変換技術を用いた即効性バイオ液肥の開発
○三原 千穂, 徳村 雅弘, 牧野 正和, 矢部 光保,（静岡県立大学, 九州大学）

- P-47 安心安全なサーキュラーエコノミーの実現に向けた再生プラスチック原料の品質評価スキームの検討
○酒井 颯大, 徳村 雅弘, 榎本 剛司, 牧野 正和, 達 晃一, 篠原 直秀, 藤本 健, 古藤 野枝, 森住 理海 (静岡県立大学, いすゞ自動車, 産総研, ソルトラボ石垣島, カヤックゼロ)
- P-48 加熱式タバコの主流煙に含まれる硝酸、亜硝酸、タバコ特異的ニトロソアミンの定量評価とリスク評価
○永長 愛華, 野呂 和嗣, 雨谷 敬史 (静岡県大・薬食)
- P-49 河道内植生のバイオマス発電利用における課題分析
○山本 千裕, 栗栖 聖, 羽合 佳範, 伊達 貴彦, 福士 謙介 (東京大学・工, 住友商事)
- P-50 都心部における緑地環境への期待とポケットパークの実態 —神戸市と大阪市を事例として—
○周 熙智, 大野 朋子 (神戸大学大学院)
- P-51 Study on Teacher Perception and Teaching Materials in Environmental Education: A Case Study at Upper Secondary Schools in Cambodia
○タック クンティア, 荒巻 俊也 (東洋大学)
- P-52 粒径の異なるナノサイズ粒子の同時曝露による細胞侵入量評価
○大西 諒, 高井 さつき, 長屋 太樹, 福田 絵美, 松井 康人 (京都大学 安全衛生・エネルギー管理工学分野)
- P-53 気相及び液相ナノ粒子の培養液中におけるゼータ電位の変化に関する研究
○下山 剛輝, 高井 さつき, 長屋 太樹, 福田 絵美, 松井 康人 (京都大学 安全衛生・エネルギー管理工学分野)
- P-54 水俣湾及び近隣に生息する魚類における水銀及びセレン濃度調査
○小坂 寧々, 柳生 佐保, 丸本 倍美, 丸本 幸治 (水俣高等学校, 国立水俣病総合研究センター)
- P-55 メチル水銀に対する認識調査及び正しく理解するための手法としての毛髪水銀濃度測定
○神崎 愛琉, 柳生 佐保, 丸本 倍美, 丸本 幸治 (熊本県立水俣高等学校, 国立水俣病総合研究センター)
- P-56 麦に対する PFAS の毒性予測への生体結合モデル (BLM) の拡張
○坂本 あかね, 庄司 良 (東京高専)
- P-57 異なる植生の土壌中から抽出したフミン酸が銅のオオミジンコに対する毒性に与える影響
○永島 双葉, 庄司 良 (東京工業高等専門学校)

- P-58 二枚貝の軟組織に適用可能な PFAS 分析法の確立と瀬戸内海沿岸域のモニタリング調査
○安原 芽生, 田上 瑠美, 国末 達也 (愛媛大・先研院・沿環科研セ)
- P-59 未利用エネルギー「浸透圧発電」の経済技術性評価
○渡邊 琴弓, 島 弘幸 (山梨大学)
- P-60 スミレ属ミヤマスミレ節内の種間関係を探る
○山本 純也 (小野高校)
- P-61 循環型農業を目指した牛ふん由来バイオ液肥の施用効果に関する実証的研究ー作物の品質・食味および土壌成分への影響評価ー
○河村 怜夏, 徳村 雅弘, 占部 杏珠, 大槻 尚子, 市川 陽子, 若林 敬二, 牧野 正和, 川島 芳郎, 小室 直義, 永田 浩章, 西山 靖紀 (静岡県立大学, 合同会社富士山朝霧 Biomass, ながたファーム, 合同会社アグリノ)
- P-62 パイナップル葉由来の繊維生産と副産物利用におけるライフサイクル評価
○中本 采那, 兵法 彩 (都市大・環)
- P-63 建築ストックの代謝率に基づく都市資源フロー分析
○伴 咲穂, 長谷川 正利, 白川 博章, 谷川 寛樹 (名大・工, 名大・環境)
- P-64 ツバメの営巣環境から捉えた都市住民の心地よい緑地と生活環境へのまちづくり提案
○松田 卓也, 大野 朋子 (神戸大学・国際人間, 神戸大学大学院)
- P-65 全国道路橋を対象とした物質ストック量と劣化リスクの空間的把握
佐々木 文海, 長谷川 正利, 白川 博章, 谷川 寛樹 (名大・工, 名大・環境)
- P-66 航空写真を利用した都市未利用バイオマス資源の空間分布の把握とその有効活用可能性について
○片岡 俊哉, 中村 勇斗, 長谷川 正利, 長尾 征洋, 白川 博章, 谷川 寛樹 (名古屋大学)
- P-67 桜島や指宿での自作装置を用いた火山ガスや温泉水の組成変動観測
○茶屋道 玲 (池田学園池田高等学校)
- P-68 環境行政における女性管理職のキャリア形成
○児島 未来, 兵法 彩, 森 朋子 (東京都市大・環境, 立教大)

企画シンポジウム

シンポジウムー1 9月4日(木) A会場(503) 9:30～12:00

「水インフラに見る人々の暮らしと価値観」

オーガナイザー 村上道夫(大阪大学)教授

中村高志(山梨大学)准教授

挨拶：中村高志(山梨大学)准教授

趣旨説明： 健全な水環境の保全に向けたインフラ施設の適切な維持管理は、喫緊の課題である。近年、水インフラの維持管理に向けた地域社会の住民参画が重要視されつつあり、水インフラ施設に対する人々の価値観や考えを明らかにする必要がある。そこで、衛生工学、環境学、リスク学、水文学、土木計画学、文化人類学など様々な分野の観点から、未来の水インフラ施設とコミュニティの関わりのありかたを議論する。

講演者：①「水への誇りの要因と水インフラ投資への関心との関連：自由記述と量的分析による探索的検討」

○村上道夫(大阪大学)教授、中村晋一郎、笹川みちる、橋本淳司、沖大幹

②「ポストヒューマンの人類学から考える水インフラ：技術・自然・社会の交差」

○難波美芸(鹿児島大学)講師

③「ステークホルダーの視点から考える水インフラ」

○飛野智宏(東京大学)准教授

④「社会水文学におけるインフラ：固定されたインフラと変化するインフラ」

○中村晋一郎(名古屋大学)准教授

⑤「水のブリコラージュ～時・場・人の間と揺らぎ」

○西田継(山梨大学)教授、中村高志、山本有彩、

Kabinga Shepherd Mususu、朝隈慎悟

⑥「まちづくりの拠り所としての水インフラ」

○田中尚人(熊本大学)准教授

総合討論

コメンテータ：原美登里(立正大学)准教授

司会：村上道夫(大阪大学)教授、中村高志(山梨大学)准教授

シンポジウム-2 9月4日（木） B会場（602/603） 9：30 ～ 12：00

「脱炭素実現に向けた CCS 普及策の学際的研究」

プロジェクト名：住友財団環境研究助成

「CCS 普及へのカーボンプライシングとサステナブルファイナンスの学際的・
国際共同研究」

オーガナイザー 有村俊秀（早稲田大学）教授

鷲津明由（早稲田大学）教授

挨拶：有村俊秀（早稲田大学）教授

趣旨説明：2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、二酸化炭素回収・貯留（CCS）の役割が注目されている。しかし、CCS自体は経済的価値を生み出さず、かつ費用が膨大なため、様々な政策がなければ導入されない。日本でもCCS事業法が制定され、その方向性は示されているが、実際にカーボンニュートラル達成に向けて十分な量のCCS導入が実現するかは明らかではない。そこで、本シンポジウムでは、CCSの技術的課題、経済的、社会的課題に対して、工学、経済学、ファイナンス等を中心に学際的にアプローチする。具体的には、それぞれの分野から研究報告を行い、今後の政策の方向性を議論する。

講演者：①「日豪 JCM の実現に向けた可能性と課題—豪州における CCS・CCUS プロジェクトを事例として」

森村将平（早稲田大学環境経済・経営研究所）招
聘研究員

共著者：有村俊秀（早稲田大学）教授

②「火力発電所への CO₂ 分離回収適用における産業連関分析のための資本費推算」

風間政弥（早稲田大学創造理工学研究科）

③「火力発電所における CCS 導入効果の産業連関分析に向けて：地域間次世代エネルギーシステム分析用産業連関表の応用」

鷲津明由（早稲田大学）教授

共著者：板明果（東北学院大学）准教授

④「CCS 及び CCUS を推進する財務的意思決定基準及びサステナブルファイナンスの一考察」

伊藤晴祥（青山学院大学）教授

総合討論

司会：有村俊秀（早稲田大学）教授

司 会：水谷香織（名古屋学院大学）准教授

シンポジウム-4 9月4日（木） A会場（503） 14：00 ～ 16：30

「営農型太陽光発電による食糧生産の持続可能性の確保」

プロジェクト名：JST/RISTEX Solve for SDGs「ソーラーシェアリングを活用した自立型脱炭素スマート農地の確立と展開」

オーガナイザー 倉阪秀史（千葉大学）教授

馬上丈司（千葉エコ・エネルギー株式会社）代表取締役社長

挨拶：倉阪秀史（千葉大学）教授

趣旨説明： 「脱炭素スマート農地」研究は、営農型太陽光発電で得られる電力と、電化された各種スマート農業機器を組み合わせることによって、経営的にもエネルギー的にも自立した持続可能な農業経営を確立することを目的とする。これまで、畑作と稲作の実験サイトにおいて、パネル内外での収穫量比較、パネル下におけるスマート農業の可能性検討、パネル内外での労働環境比較、全国の農業委員会調査、パネルの電力を活用した収量増加策の検討、パネル電力による食料生産の持続可能性の検討、学生による実習プログラムの実施などを進めてきた。本シンポジウムは、その成果と課題について確認し、今後の方向性を議論しようとするものである。

講演者：①「脱炭素スマート農地研究のねらいと到達点」

倉阪秀史（千葉大学）

②「ソーラーシェアリングをとりまく政策の現状」

馬上丈司（千葉エコ・エネルギー）

③「ソーラーシェアリングのパネル内外での作物の生育状況の比較」

丸山紀子（千葉大学）

④「市町村別の食糧生産にかかるエネルギー消費量の推計とソーラーシェアリングによる自給可能性」

李想（千葉大学）

⑤「ソーラーシェアリングに関する科学技術社会論からのアプローチ」

立花浩司（千葉エコ・エネルギー株式会社）

総合討論 討論者

「合意形成の観点から」

竹内彩乃（東邦大学）

「自然と共生するカーボンニュートラル地域の実現の観点から」

河本光明（広島大学）

「市町村別のエネルギー消費量の推計の観点から」

石河正寛（住環境計画研究所）

司 会：馬上丈司（千葉エコ・エネルギー株式会社）

シンポジウム-5 9月4日（木） B会場（602/603） 14：00 ～ 16：30

学術賞受賞記念シンポジウム「どうすれば環境ボランティアを増やせるのか？」

オーガナイザー 森 保文（国立環境研究所）シニア研究員
前田恭伸（静岡大学）教授

挨拶：森 保文（国立環境研究所）シニア研究員

趣旨説明： 環境問題の解決におけるボランティアの重要性は、今や議論の余地がない。しかし、多くの非営利活動団体などがボランティア獲得に努めているにもかかわらず、ボランティア不足は依然として課題となっている。そこで本シンポジウムでは、ボランティアと団体をマッチングする情報システム、中間支援組織からみた課題、および広島での具体的事例（里山保全活動・環境ボランティア活動のネットワーク化と動員）を踏まえて、ボランティア活動参加の促進に関する研究の方向性を探る。

講演者：①「ボランティア活動参加の機構に基づく募集のあり方」

森 保文（国立環境研究所）シニア研究員

②「東広島市の里山保全活動における参加者の動員とネットワーク」

浅野敏久（広島大学）教授

③「環境ボランティア活動のネットワーク化の効果」

小倉亜紗美（呉工業高等専門学校）准教授

④「ボランティアと団体をマッチングする情報システムの可能性」

前田恭伸（静岡大学）教授

⑤「中間支援組織から見たボランティアと団体の現状」

犬塚裕雅（一般社団法人 CAT）代表理事

総合討論

司 会：犬塚裕雅（一般社団法人 CAT）代表理事

シンポジウムー6 9月5日(金) A会場(503) 9:00～11:30

「再生プラスチックに関する循環経済システムの構築に向けた課題とその研究動向」

プロジェクト名：第3期戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)課題

「サーキュラーエコノミーシステムの構築」

オーガナイザー 小島直也(産業技術総合研究所) 主任研究員

田畑智博(神戸大学) 准教授

挨拶：小島直也(産業技術総合研究所) 主任研究員

趣旨説明：従来型の線型経済から、持続可能な形で資源を利用する循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行を通じて、低炭素化、資源の有効活用・安定供給、廃棄物の適正処理、関連分野における投資・イノベーションの促進など様々な成果が期待される。一方、その実現にはGHG削減効果の評価や可視化、安全性の確保、産官学民が協力したプラスチック収集システムの構築、消費者行動変容、などの課題を乗り越える必要がある。本シンポジウムでは、再生プラスチックに着目し、循環経済システムの構築にかかる多様な課題とその課題解決のための研究事例を紹介する。総合討論では、各研究事例にとどまらず、目指すべき循環経済像や必要な科学的アプローチについて議論する。

講演者：①「神戸市における産官学民連携の取り組み」

高瀬 晴太(アマタホールディングス) 社会デザイン事業開発マネージャー

②再生プラスチック製品に対する消費者の抵抗感把握のための調査」

田畑智博(神戸大学) 准教授

③「プラスチック利用に関する消費者行動の類型化と普及要因」

甲斐田直子(筑波大学) 准教授

④「循環意識・行動変容のトリガーとなる展示とワークショップデザイン

—京都里山SDGsことすプラススクールを事例に—」

塩瀬 隆之(京都大学) 准教授

⑤「廃棄プラスチックのリサイクル工程の評価」

片岡 祥(産業技術総合研究所) 研究主幹

⑥「再生プラスチックに含まれる化学物質の安全性評価

および評価手法の事業者への展開」

小島直也(産業技術総合研究所) 主任研究員

総合討論

司会：田畑智博(神戸大学大学院人間発達環境学研究科) 准教授

シンポジウムー7 9月5日（金） B会場（602/603） 9：00 ～ 11：30

「持続可能な食システムに向けて」

プロジェクト名：JST SICORP e-Asia 共同研究プログラム

「脱炭素型食システムのための AI による支援ツール開発」

オーガナイザー 天沢逸里（早稲田大学）准教授

栗栖聖（東京大学）准教授

挨拶：天沢逸里（早稲田大学）准教授

趣旨説明：人が食べたい時に、食べたいものを食べることができる現状の食システムは、地球環境や社会経済格差を犠牲にして成り立っている。持続可能な食システムの実現に向けて多様な対策が講じられているが、食システム起因の環境負荷は増加の傾向を辿り、社会経済格差が是正される兆しはなかなか見えない。本シンポジウムでは、現代の持続可能な食システムに向けた課題と機会を議論することを目的に、異なる分野とライフサイクル段階における持続可能性をテーマとした研究事例をご講演いただく。講演から、食材の生産から流通、飲食店や小売、そして消費者の選択における課題を理解した上で、課題解決に向けた連携とその機会を討論する。

講演者：①「都市と離島の環境負荷分析から見てきた食のサステナビリティ」

兵法彩（東京都市大学）准教授

②「藻場回復に向けた藻食性未利用魚の有効利用」

光斎翔貴（立命館大学）准教授

③「畜産システムを対象とした環境側面の評価事例」

菱沼竜男（宇都宮大学）准教授

④「飲食店の食材調達とメニュー開発における意思決定から探索する脱炭素への機会」

鈴木智子（早稲田大学）研究補助者

⑤「消費者の食品購買行動における動機の分析」

WU Yinglei（東京大学）研究員

総合討論

司会：栗栖聖（東京大学）准教授

「スクリーニング分析を用いた環境および水質モニタリングの新展開」

オーガナイザー 小林憲弘（国立衛研）室長

坂田脩（埼玉県）総務・疾病対策担当

趣旨説明：環境や水道水で監視が必要な化学物質は数多く存在する一方、公定法による検査は対象物質が限られ、検査に多大な労力を要することから、多物質を迅速に測定し評価する体制の構築が求められている。また、検査に用いるキャリアーガスの供給不足や価格高騰により、代替キャリアーガスを用いた分析技術も必要とされている。本シンポジウムでは検査対象物質の情報を予めデータベースに登録することで、検査時に標準品を用いずに網羅的に定性・定量が可能な「スクリーニング分析」の環境や水道水への適用に関して、代替キャリアーガスを用いた手法を含めた研究開発の進捗状況について報告するとともに、今度の課題について議論する。

講演者：①「スクリーニング分析を用いた水道水中農薬のモニタリングに関する研究の進捗と今後の展開」

小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）室長

②「水道及び河川水におけるスクリーニング分析法の文献調査」

坂田脩（埼玉県）総務・疾病対策担当

③「ヘリウム代替キャリアーガスを用いた GC/MS による有機汚染物質のスクリーニング法と確定分析法の提案」

古閑豊和（福岡県保健環境研究所）専門研究員

④「農薬スクリーニングを目的とした GC/MS 用 AIQS-DB の性能比較とその活用事例」

大窪かおり（佐賀県衛生薬業センター）課長

⑤「水道水および環境水中の農薬類に対する LC/MS 系装置を活用したスクリーニング分析の実用化に向けた課題と解決策」

古川浩司（三重県環境保全事業団）部長

総合討論（講演者、会場参加者）

司 会：小林憲弘・坂田 脩